

学校評価についての考察と課題

- 「思いやりの心」や「明るく元気に登校」については児童・保護者・職員ともに比較的高い数値となりました。きまりを守り、思いやりの心をもって明るく生活できている児童が多いことがわかります。
- 学校行事には多くの保護者の皆様から肯定的なご意見をいただきました。「憤魂祭」はPTAの方々が昨年度培った運営を生かしつつ更に充実させたものにしていただき、笑顔あふれる活動となりました。運動会については、ここ数年の急激な気候変動により5月中旬には夏日が続くような暑さの中、練習期間を含め児童の健康面に十分配慮して実施していかなければならないと考えています。限られた授業時数の中で児童の願いを汲み、最大限の達成感を味わえるような実施のあり方について今後も検討していきます。
- 今年度も昨年度に引き続き学習のねらいや子どもたちのニーズに沿って出前授業を積極的に実施しました。体験的な活動を取り入れることで子どもたちの実感の伴った理解につなげることができました。次年度も継続していきます。
- 挨拶については、児童は比較的高い数値を示している一方、保護者・教職員の評価との乖離が見られました。児童は元気よく挨拶ができていると考えていますが、周囲の大人はまだ十分ではないと捉えています。引き続き特別活動や特別の教科「道徳」の時間をとおして挨拶の意義や必要性について考え学ぶ機会を設けていきます。また、周囲の大人が子どもたちのよき挨拶の手本となれるようにより教職員一同努めてまいります。
- 進んで学習する姿勢や学習の定着についても、児童は比較的高い数値を示している一方、保護者・教職員の評価との乖離が見られました。児童が学習に能動的に向き合えるとともに学習の定着が実感できるように質の高い授業に努めてまいります。
- 教職員の指導力については昨年度以上に若年層が増えている状況ですが、自己の教職員としての力量を高められるように自己研鑽に前向きな職員の姿が多くみられます。引き続き、校内外の研修を積極的に受講し、教科指導や児童理解等の力を高められるように努めてまいります。
- 放課後の過ごし方については、ご心配な声をいただきました。学区公園の利用で「マナー」や「遊び方」について地域の方からお叱りや心配の声をいただくことが少なからずあります。その都度、公園をはじめ公共施設の利用の仕方について指導しています。また、短縮日課等で下校が早い日等は職員が地域の見回りを行っています。保護者の皆様におかれましても、放課後の過ごし方についてお子様の安全を第一にお話しただけですようお願いいたします。
- 学校連絡メール「すぐーる」については、多くの保護者の皆様に登録していただき感謝申し上げます。情報提供のペーパーレス化の推進と即時に情報伝達が可能となる特徴を鑑み、ガイドラインに沿って、より効果的な活用について検討してまいります。
- 体操服の素材等については、過去にも検討しましたが価格面等で折り合わず見送った経緯があります。まずは販売店・製造会社に現状について確認し、検討させていただきます。
- 学校施設の老朽化、特にタイルの補修については、学校独自には取り扱えない状況です。教育委員会に依頼しているところで現地調査までは済んでいるところです。老朽化した備品についても使用状況を確認し、必要に応じて修繕・撤去を進めてまいります。

諸課題を解決するためには、ご家庭・保護者・地域の皆様のご協力が不可欠です。

子どもたちの健やかな成長のため、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。